

一般社団法人 オープンCADフォーマット評議会のご案内

■設立経緯と主な活動

一般社団法人オープンCADフォーマット評議会(OCF)は、CALSS/EC、CIM、i-Construction等の建設業情報化の中核を担うCADデータの交換と高度利用に関して、公益的な立場で活動している団体です。建設CALSS/EC基本構想(1996)と同アクションプログラム(1997)の策定を受け、建設系のCADベンダーが集まって始めた活動をベースに1998年に設立されました。1999年の官民コンソーシアムにて策定されたSXF仕様(*1)への対応と普及をメインに据え、CALSS/ECの普及に大きな貢献を果たしてきました。

CIM(*2)に関しては、2012年から関連活動を開始し2014年Open CIM Forumを発足させました。i-Constructionも含め3次元化時代に対応したCADデータ流通基盤の構築に取り組んでいます。

現在29社のソフト・ハードのベンダーで構成され、他では担いきれない、情報流通と活用ための技術的な課題解決に努めています。

活動の大きな柱は次の三つです。

1. 市販ソフトウェアがSXF仕様に準拠しているかを検定する「OCF検定」
2. SXFに携わる人の知識・能力を検定する「SXF技術者検定試験」
3. CIM・i-Constructionを支援し、情報流通基盤を提供する「Open CIM Forum」

情報の電子化とスムーズな交換・流通には、運用ルールとデータの標準化が不可欠です。しかし標準化はその仕様書が策定されれば簡単に実現するというものではありません。関連ソフトウェアが、仕様に準拠して開発され正しいデータ入出力を行うこと、そしてソフトウェアを利用する方が必要な知識・ノウハウを備えていること、この二つは車の両輪であり、これらを公益的な立場から検証することは大変重要な意義があります。

(*1) SXF仕様： CADデータ交換標準開発コンソーシアム(SCADEC)で策定されたCADデータ交換フォーマット。国土交通省を始めとした公共事業での図面の電子納品形式として採用されています。

(*2) CIM： Construction Information Modeling/Managementの略。国土交通省が、3次元化や可視化をキーワードに建設生産システム全体の变革を目指して2012年より取り組んでいるもので、2017年度からはCIM導入ガイドラインに基づいた運用が始まっています。

OCF検定

市販CADソフトウェアのSXF仕様への準拠性を、公益的な立場から厳密に検証し、ユーザーに判断材料を提供しています。

CAD図面を電子納品するなら、OCF検定に合格した認証ソフトが安心です。



SXF技術者検定試験

正確な図面の電子納品には、適切なソフトウェアを使用するだけでなく、各要領・基準類の知識やデータ作成・変換の運用ノウハウが必要となります。

この試験は、CAD図面の電子納品に携わる人にとって最初の一步です。



Open CIM Forum (オープンCIMフォーラム)

CIM及びi-Construction推進における技術的な課題に対して、ソフト・ハードベンダー一体となって取り組んでいます。ユーザーの先駆的な取組みを支援し、CIM・i-Construction時代に対応した情報の流通基盤を提供します。何なりとご相談ください。



■活動の歩み

年	建設業の情報化動向	OCFの活動
1996	建設 CALS/EC 整備基本構想	(社)日本パーソナルコンピュータソフトウェア協会
1997	建設 CALS/EC アクションプログラム	
1998		オープン CAD フォーマット評議会設立
1999	CAD データ交換標準開発コンソーシアム (SCADEC)発足	SCADEC に参画(評議員、運営委員) 建設業のための「STEP 入門セミナー」開催
2000	建設情報標準化委員会発足	STEP 国際会議(仏)に参加
2001	第一次建設情報標準化推進計画	電子納品に向けて「SXF キックオフセミナー」開催 OCF 検定開始
2002	CAD 製図基準(案)に SXF(p21)と明記	CALS/EC MESSE 2003 に出展、セミナー開催
2003	SXF Ver.3.0 公開	「SXF 変換を意識した CAD 製図」公開
2004	第二次建設情報標準化三箇年推進計画	CAD データ交換標準小委員会委員 SXF 技術者検定試験開始(平成 16 年度)
2005		OCF 検定 SXF Ver.3.0 対応検定開始
2006	CALS/EC アクションプログラム 2005	OCF 検定 道路基盤情報属性セット検定開始
2007	第三次建設情報標準化三箇年推進計画 SXF Ver.3.1 公開	OCF 検定 新しい体系に移行
2008	CAD 製図基準(案)改定 (SXF Ver.2.0 以上) 社会基盤情報標準化委員会へ改名	SXF 技術者検定試験 CBT 試験に移行 OCF 検定 SXF Ver.3.1 対応検定開始
2009	CALS/EC アクションプログラム 2008 国交省 CALS/EC 推進会議設置	一般社団法人化
2010	社会基盤情報標準化推進計画 2010-2012	OCF 検定 SXF 確認機能検定開始
2011		SXF 技術者検定試験 更新セミナーを DVD にて
2012	国交省 CIM 検討体制と試行(業務)	SXF 共通ライブラリの保守を JACIC より移管 CIM 技術検討会に参加
2013	国交省 CIM 試行(業務、工事)	OpenCIMForum キックオフ「OCF CIM セミナー」
2014	CIM 技術検討会正式メンバーとして参加 「産学官 CIM」に参加	OpenCIMForum 発足 SXF 技術者検定試験 更新セミナーの Web 化
2015		「CIM セミナー名古屋・大阪」の開催
2016	i-Construction 15 の基準公開 国交省「CIM 導入推進委員会」に参画	i-Construction 基準:LandXML 対応ソフト一覧の公開 「CIM セミナー2016」東京、名古屋、札幌にて開催
2017	CIM 導入ガイドライン等の公開 CIM が i-Construction 推進の柱に	CIM 導入ガイドライン対応ソフト一覧の公開 「CIM セミナー2017」東京、名古屋、福岡にて開催

■OCF 検定監査委員会

委員長	窪田 諭	関西大学
委員	関谷 浩孝	国土交通省 国土技術政策総合研究所
委員	徳重 政志	(一財)日本建設情報総合センター
委員	山脇 慎	(株)高速道路総合技術研究所
委員	加治屋 昇	(一社)建設コンサルタンツ協会
委員	末田 俊久	(一社)建設コンサルタンツ協会
委員	浅賀 泰夫	(一社)建設情報化協議会
委員	芦北 大輔	(一財)経済調査会
委員	青野 昌行	(株)日経 BP 社
委員	山地 忠雄	(株)建通新聞社

(敬称略)

■役員

代表理事	竹内 幹男	福井コンピュータ(株)
副代表理事	五十嵐 昭	(株)ビッグバン
副代表理事	山田 昇	(株)デザイン・クリエイション
副代表理事	浦井 正勝	川田テクノシステム(株)
理事	土屋 義彦	(株)建設システム
理事	井上 修	オートデスク(株)
理事	前田 晋	JIP テクノサイエンス(株)
監事	佐藤 直人	アイサンテクノロジー(株)
監事	大野 聡	(株)シビルソフト開発
技術部会長	長尾 充博	川田テクノシステム(株)
技術顧問	西木 也寸志	
CIM 参与	福地 良彦	オートデスク(株)



一般社団法人 オープン CAD フォーマット評議会

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町 4-6

TEL:03-5823-1935 URL:http://www.ocf.or.jp/